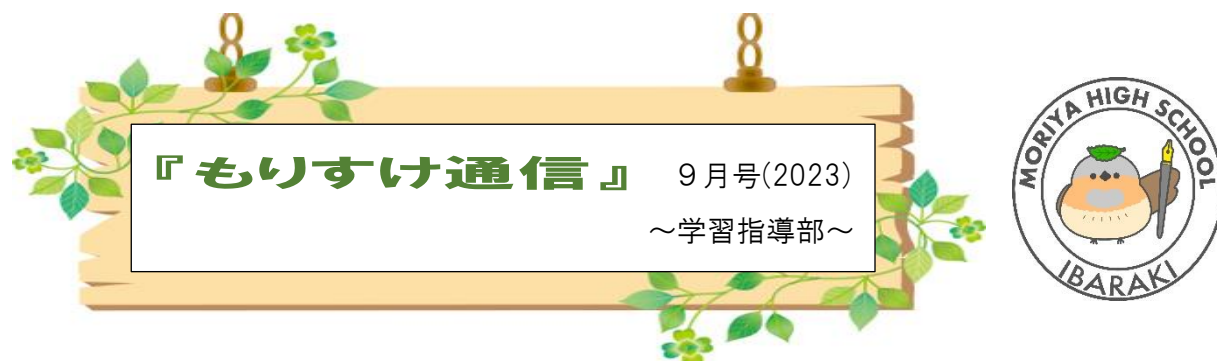




夏休みが終わりましたがまだまだ暑さが続いています。地球規模の気候変動を目にすることが多かった夏でした。西日本を襲った災害級の台風、死者が出るような猛烈な暑さ、海外ではハワイの山火事など。

気候だけでなく、日々のニュースを見てしていると国内外問わず、さまざまな問題が起こっています。まずは関心を持って「知ること」そして「考えること」をしたいですね。



『新しい世界への鍵！』

英語の授業は好きですか？日々の授業の中で、多くの生徒が「Google 翻訳」「ChatGPT」などの自動翻訳機能を活用しているようです。スマホやタブレットがあれば簡単に翻訳ができてしまう今、語学を学ぶ意味やこれからの人生にどう活かすのかについて考えてみましょう。

[データで見る‘言語’]

*世界で最も話されている言語(単位100万人／2022年調査)

1位 英語	1,500
2位 中国語(標準語)	1,100
3位 ヒンディー語	602.2
4位 スペイン語	548.3
5位 フランス語	274.1
※日本語 125.4	



*ウェブサイトにおいて最も使用されている言語(2023.5 調査)

1位 英語	55.0%
2位 スペイン語	5.0%
3位 ロシア語	4.9%
※日本語 3.7%	



*世界各国の英語力ランキング(英語を母語としない国を対象／2022年調査)



1位	オランダ	
2位	シンガポール	
3位	オーストリア	※日本 80位

*世界で学習者の多い言語(2022年調査)

1位 英語
2位 スペイン語
3位 フランス語

*日本で学習者の多い言語(2022年調査)

1位 英語
2位 韓国語
3位 中国語



[加速するグローバル化]

日本国内を見ると、在留外国人の数は年々増加しています。2022年には300万人を突破。今後は私たちの日常やビジネスシーンなどでも日本語を母語としない人が身近になることでしょう。全国の学校でも外国籍の児童生徒が増えています。2021年には約4万7千人が在籍。教室で机を並べて授業を受けることもめずらしくなっています。

[全国の高校生の英語に対する意識は]

*英語ができるようになったら何がしたい

1位 会話・交流・コミュニケーション
2位 海外旅行
3位 留学



英語を習得することでさまざまなことに挑戦できたり、これまで知らなかった世界が開けたり、自分の人生の可能性が広がります。ここに英語を学ぶ意味や人生にどう活かすのかの答えがあるのではないのでしょうか？



令和5年度英語プレゼンテーションフォーラム茨城県大会にて

茨城県教育委員会教育長賞を受賞しました！

B部門学校紹介というカテゴリーにおいて「Moriya Spirit」というタイトルで10分間、英語でプレゼンしました。メンバーは3年 ROLIM TAZIMA JONATAS さん、2年江原慶一朗さん、内藤菜々子さん、宮本 蓮さんの4名です。

堂々と笑顔で本校の魅力を伝えることができ、観客から多くの拍手をいただきました。このプレゼンを通して4人は多くのことを学んだようです。中でも、自分たちのメッセージを英語で伝えることができたということが素晴らしい経験になったようです。

詳しくはHPに記事が掲載されています。また後日YouTubeで県大会の様子が配信されます。

英語を通して何かにチャレンジしたい人を応援します！

